friendship force HIROSHIMA ● 2015年1月24日発行
Newsletter Vol.5

北イリノイ交換レポート

ED 猪原俊郎

2014年の交換（渡航）はＦＦ広島の会員12名で2014年6月1日に出発しアメリカ北イリノイクラブを訪問、アメリカ流のホスピタリティーを全身に受け楽しい思い出と共に6月11日帰国しました。北イリノイでは会員の家庭にホームステイしながら下記の交流をしました。今回も全日天気に恵まれ、先方北イリノイクラブのプロフェショナルな企画とアンバサダーの皆様のご協力によりスムーズにかつ予定通り心に残るすばらしい交換を終えることが出来ました。一昨年のオリンピア、昨年のホノルルに続き今回の北イリノイと３年連続でＦＦ発祥の地であるアメリカへの渡航を通し、アメリカ流のホスピタリティーを実体験し、レベルの高さを実感すると同時にＥＤとして多くの学ぶ点がありました。今後の受け入れ、渡航に是非参考にしたいと思います。

6月1日（日）～3日（火）：ナイアガラフォールズへのオプショナルツアー
6月4日（水）：ミシガン湖、湖畔のTom & Sally Coyle宅にてウエルカムディナー
6月5日（木）：シカゴ歴史博物館、Dean Rodkin氏によるシカゴ大火と町の再生についてプレゼンテーションを受ける。
6月6日（金）：シカゴ大火の火元の牛舎跡地にあるシカゴ消防局訪問、近代建築の生きた博物館といわれる名建築群を眺めながら町並み散策。
6月7日（土）：シカゴ美術館見学、日本の版画がアメリカの美術に与えた影響に焦点を当て専門員の説明により鑑賞。
6月8日（日）：フリーデー、各ホストと自由行動
6月9日（月）：オークパークにてフランクロイドライトのスタジオ及び建築群を見学
　　夕刻　ＥＤのPat & Dave Meyer 自宅にてフェヤーウエルディナー
6月10日（火）：シカゴオヘア空港を出発、11日（水）成田経由、広島空港着

今回の北イリノイクラブとの交換は、双方のクラブの活動拠点のシカゴ市と広島市は、大火(1971年)と原爆(1945年)と言う市街地全体が喪失した原因こそ異なるものの、廃墟から立ち上がって今日の様な都市機能の再構築と発展の過程は、共通したものを感じました。またシカゴは大都市機能の中に防災と芸術を両立させた建築技術や湖岸の自然美散策などに加えて、歓迎やお別れ会の場は何れもホスト宅と言う企画は、正にFF発祥のアメリカを感じさせるもので、充実した交換でした。

（山本和俊・喜久子）

今回の北イリノイ渡航で一番よかったのは、ホストの女性との出会いでした。彼女は車を運転し、PCを使いこなし、持ち家や貸家の管理をするおしゃれな86歳、ベランダに花鉢を置き、躾の良いキュートなプードル犬“マック“と暮らしている一人暮らしのJean。一番に手を挙げてホストを引き受けてくれたそうです。週１回は息子さんが訪れ瓶のふたを開ける等のサポートをしてくれているとか。私のこれからの生き方のお手本となる女性です。（松本浩子）

Home stay宅は、近くに湖、オークと楓、芝生のグリーン、花壇の花々、リスがちょろちょろ姿を現すといった閑静な住宅地にありました。ホストのスコット氏は身長2m、対する私はミニサイズ、この凸凹ぶりに初対面から大笑い。穏やかで温かく、聡明なご夫婦でした。私の英語が十分でないことをいつも気にかけて、ゆっくり丁寧に話してくださいました。しかし、モザイク状にしか理解できず自分流に解釈しては勘違いをし、そんな時、何とラッキーなことに、ひょっこり猪原さんや松浦さんに遭遇、助けてもらえたのです。まさに幾度も「仏」に出会えたのです。やっぱり、英語を勉強しておけばと今回も同じ反省をしました。（谷口昌史・悦子）

（２ページへ続く）

今回初めての参加で、ホームステイでホストの方とうまく意思疎通ができるのだろうか、という不安がありましたが、ホストのバーバラさんは、とても気さくで素敵な方で楽しい時を過ごす事ができました。そして1971年の大火を経て、摩天楼の大都市へと変貌していったシカゴの歴史も学ぶ事もできました。訪れた博物館や美術館、郊外の美しい街並み、数多くの建物を水上から見上げたリバークルーズ、食材の豊富さや違いに驚いたスーパーでの買い物など、すべて心に残る素晴らしい思い出です。そして何よりも北イリノイで出会い、共に過ごした一人一人の方々の顔が、まるで古くから友人であるかの様に懐かしく心に浮かんできます。素晴らしい経験をすることができました。（菅川広弥）

今回FF初めてのイリノイ訪問は私にとって一生忘れられない有意義な旅でした。空港で私達を迎えてくださった私達ホストのバーバラさんはまるで何年も前からの親友に再会したような出会いでした。異国の歴史や文化に触れ親切な方たちと食事や会話を楽しみ、日常を体験しました。一刻一刻が夢のような毎日でした。ＥＤの猪原さんをはじめ出会った全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。（小角典子）

トルコ イズミールクラブ受け入れレポート　６月2日～４日

ED　山本鈴子

今回初めてＥＤをするにあたり、ＦＦのＥＤ研修会を森川さん宅で行っていただき、ＦＦ交換プログラムの中にも色々なタイプがあることを知りました。定番交換（５～７泊）、テーマを決めたスペシャル交換、国内交換、ショートステイ交換などなどです。ショートステイ型にもＦＦ本部を通して行われるストップオーバーホスピタリティ（ＳＯＨ）型と本部を通さずクラブどうしで行うショートステイ型があるそうです。広島は世界的にも知名度が高いために他クラブでの定番交換の前後に広島ショートステイ（ＨＳＳ）を希望されるケースが多く、今回のトルコイズミール交換もこのＨＳＳ型でした。ホテル、チケット、スケジュールなどは全てご自分たちで手配され、１日だけ広島を案内してほしいというご要望でした。６/２から６/４までの滞在でしたが、丁度この時期に広島クラブはイリノイクラブとの交換のため渡米中で、１９人のアンバサダーに対してデイホスト２人とＥＤ合わせ計３人で対応しなければならない状況でした。ランチパックの手配などどうしてもあと２人は必要だったので会員ではないのですが私の友人２人に手伝ってもらい計５人で対応しました。

６/２　　夕方、広島駅に出迎え　ニューヒロデンホテルへ案内
　　アンバサダーの一人がＪＲパスを紛失され、ＪＲに手配していただいたが結局見つからなかった。
６/３　　午前、平和記念公園　午後、宮島観光
　　昼食はアクアネットで移動中にランチパック　夕食は「お好み焼き駅前広場」
６/４　　午前ホテル出迎え　長崎へ

実は松本浩子さんと３月下旬にトルコ旅行をした際に、イズミールクラブの会長とＥＤのお二人がわざわざ空港まで会いに来て下さり、短時間の立ち話でしたがお二人の人柄に触れ、６月の交換に向けてスムーズに準備が出来ました。広島駅ホームで再会した時には懐かしささえ感じました。ＦＦを通して私たちは世界中に友達を作ることが出来るのです。これが、まさにFriendship Forceの目指している事なのだと実感しました。

ベルギー ルーバンクラブ受け入れレポート　11月24日～26日　ED　竹内佳代子

３月の初めより、EDのヒロ彩霞さんとメールでスケジュール調整やマッチングについて交信してきました。アンバサダーはベルギー人６人、オランダ人４人の１０名でした。

ショートステイではありますが、全員ホームステイをさせてほしいという先方のたっての希望がありました。広島での受入可能人数は6～７人ですので、広島通訳協会々員2名の方にお願いし、１０名全員の受け入れが可能になりました。マッチングの際には、畳では寝られないといわれる方があり、ベッドのあるお宅を探さなければならなくなりました。幸い、ベッドが１つあるという家庭がありましたので、その家庭と入れ替えるということもありました。

宮島観光は、運のいいことに丁度、満潮の時刻に重なり、海に浮かぶ鳥居や神社を眺めることができました。あいにくの天気ではありましたが、雨に濡れたきれいな最後の紅葉を見ることができ、アンバサダーも喜んでおられました。

宮島観光後のウェルカムパーティーでは、多くの広島メンバーも参加され、にぎやかに歓談し、両クラブメンバーがそれぞれの国の歌を一緒になって歌い、盛り上がりました。

翌日の平和公園では、アンバサダーのみなさんが折鶴を捧げてくださいました。公園内を巡り、原爆の恐ろしさ、平和の大切さを十分感じられたことだと思います。

歴史あるヨーロッパクラブとの交流ということで、広島クラブの方々も関心が高く、しっかり応援していただいたお蔭で、無事に次のホームステイ先に送り出すことができましたことうれしく思います。

FF広島国際交流研修会（１０月３日）

会場：市立深津小学校
（豪ケンモア小学校Holly, Georgiaと
両親Danielle, Ray Wade）

FF広島国際交流研修会（9月25日）

会場：福山市立中・高等学校
（豪ダウンランズカレッジ生徒36名）

FF広島国際交流研修会（１１月２６日）

会場：尾道市立日比崎小学校
（台湾の小学生と英語で
テレビ電話交流）

２０１４年１０月１４日～１６日　ＮＺ／オークランド

第37回 ＦＦ世界大会レポート

ＦＦ広島参加者：森川ＦＲ、東道淳子さん・幸弘さん

報告者　森川高明（FFIフィールド レプレゼンタティブ 西日本担当）

今年1月の総会で、「世界大会は旧い友人との再会を喜び、新しい友人をつくる絶好の機会であり、経験豊かなリーダーの話も聞くことができる」という話をしました。更に開催地の歴史、文化、人々の暮らしに接する良い機会でもあり、大会後には、開催国のFFクラブ会員がホームステイに招いてくれます。クラブ to クラブの交換渡航も有意義ですが世界大会とホームステイが楽しめるというメリットがあります。

これまでFF広島からは、2004年のクラブ発足の年にロスアンゼルス大会に山本和俊さん、讃井美逵子と共に参加、2011年はハンブルグ大会に参加して、次の年の広島大会への招聘を行いました。2012年の広島大会は、FF広島クラブ総力で「平和と友情」のテーマのもと、企画・運営を行い、400名の仲間を世界22か国からお呼びし、ヒロシマのメッセージを印象強くお伝えしたことは、皆さんの記憶に深く残っていることでしょう。2013年のニューオーリンズ大会には前年預かったホストカップの返却というミッションを携え、讃井美逵子と森川宏子と共に参加しました。本年2014年のオークランド大会には東道淳子さん、幸弘君親子との3名の参加でした。私にとってNZ・オークランドは25年前、家族を帯同しての駐在した懐かしいところ、いわば、今回の渡航はノスタルジックジャニーといったところでした。

これまでの世界大会を通して私が得たものは、世界大会とは、FFの理念である、『人々を隔てる障壁を乗り越えて、地球規模の相互理解を深める』というミッションを市民レベル外交で実証するとともに、国際社交の舞台を提供してくれる良い機会であるということです。これは創立者が勧める「キッチンテーブル ディプロマシー」（台所外交）とは一味違う国際交流の雰囲気が味わえるFFIのプログラムであると言えます。

さて、今回のオークランド大会は、10月14日から16日の3日間オークランド・ランデヴー ホテルで300人を集めて行われました。日本からは18人が参加しました。アトランタから5人のスタッフと共に参加したジョイ会長は、「フレンドシップの将来」について、基調講演の中で、次のようにメッセージを伝えました。

- この素晴らしい大会を通じて私たちは、FF設立の父が何をするために世界中に組織づくりをしたかに焦点を当て、より戦略的に輝かしいFFの未来を確立するための新しいやり方や考え方を共有していきたい。
- 過去は皆さんの力でできました。未来づくりのため、これまで以上に皆さんの力の結集を期待します。そして一つの村を作ろうではありませんか。皆さんの参加を待っています。
- 2015年はFF 設立38回の記念の年です。人々を隔てる障壁を超え地球レベルの理解を広げるという私たちの使命の妥当性を確保する立証の年となります。

今回の大会で、初のフィールドレップ会議が開催され、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本からのFRが集まり、朝食をはさんで情報交換が行われ、今後のFR同士の結束が約されました。主たる話題は、「更なるWebsite の活用」、「新クラブ設立への支援」、「EDトレーニングの強化」、「クラブ分割の必要性」などがあり、特に老齢化が進む中での広範囲のクラブ運営の難しさが、クラブを分割することで解決した事例が話され注目を浴びていました。オークランドには、ノースショア クラブとホウィック クラブがあります。

大会終了後、ホウイッククラブが日本人3人とアメリカ人2人の3泊4日のホームステイを受入れてくれました。私は、2008年、オークランドから合同クラブを受け入れた時のあるアンバサダーに会うことを楽しみにしていました。車椅子で宮島を案内したケイス ドーソン氏です。しかし、私がNZに到着する1週間前に亡くなったと聞き、その偶然に驚き悲しみにくれました。もう一人は、前ホウイック クラブ会長のピーター ブラックマン氏です。1943年のガダルカナル島で殺した日本兵から取り上げた日章旗を8年かけて長野の遺族に返したときの依頼者、元アメリカ海兵隊中尉のデービットウエークフィールド氏の消息を調べてくれた人物です。ブラックマン氏は電話の向こうで、FF会長を退任後、スーザン夫人と共に自適の生活を楽しんでいる様子を話してくれました。忘れ得ぬ人々です。さて、大会期間中に経験した二つの印象深い出来事です。ホウィック・クラブでの歓迎パーティーの冒頭、「FFの誓い」を全員で唱和し、FFの精神や理念を声を出して唱和する姿に感動しました。また、ある夜、ホテルのバーでジョイ会長を交えグラスを傾けていたとき、一人のご婦人が、自分が所属するクラブがフィリッピンの貧しい子供たちへの支援を行っていると誇り高く話してくれました。私たちが行っていないことばかりであり、FFのスローガンの一つ、”Serve” を実行する姿を見た感じです。

さて、今後の世界大会予定は、2015年8月、カナダのバンクーバーで、2016年はモロッコのカサブランカで予定されています。多くのFF広島の方が参加し、国際舞台の雰囲気を満喫されることを心から願っています。（完）

第１６回 西日本ブロック会議 in 長崎　５月２３日　ホテルオークラJRハウステンボス

ＦＦ広島参加者：森川ＦＲ、弓手会長、竹内理事、神森理事、谷口さん

ハウステンボス

「FF長崎　板倉英世会長ご挨拶」より

さて、従来、フレンドシップフォースの会合で話し合われることは、全国会議にせよブロック会議にせよ、ややもするとクラブ活動の問題点が主な話題で、円滑な活動を行うために如何に努力しているかなど、クラブの活動の苦労話などに大半が当てられ、それが当たり前のような会合が多かったようです。各種の問題点の解決策や負担の軽減などの話し合いが目的の会合とはいえ、少し物足りない感じも否めませんでした。

そこで、私どものクラブの事務局をはじめ役員会等の発案で今回の会合では思い切って趣向を変え、このクラブの活動の楽しい面のみを取り上げることにしました。各クラブにおかれましては運営上いろいろな困難や問題点があろうかと存じますが、今回はそれらをなるべく忘れて楽しく嬉しかった思い出や経験、将来への夢を話し合っていただき、今後の活動の励みにしたいと計画しました。

第２６回 日本大会 in 札幌　６月２９日～３０日　ホテルロイトン札幌

ＦＦ広島参加者：森川ＦＲ、弓手会長、田村副会長

全体会議

代表者会議

グループ討議

アイヌ文化

北海道の味覚

懇親会

「FF札幌　小泉佳子会長ご挨拶」より

世界の状況は相変わらず楽観できるものではありません。私たち一人ひとりの力は本当に小さく無力です。でも、私たちの力を寄せ合うことで、ここ日本から世界平和へのさらなる一歩を踏み出せるものと信じております。フレンドシップフォースは単なる旅行愛好家の集まりでないことを自負し、国境を越えた世界各地の会員とも連携し、この素晴らしい市民活動を次世代に広く深く伝えていかなくてはならないと思います。最後になりましたが、この大会の開催にあたって、多くの皆様のお知恵とお力をお借りいたしました。この場を借りてお礼を申し上げたいと存じます。

大倉山シャンツェ

ＦＦ広島春季研修会・懇親会開催
－三次市 カーターセンターにて－

5月18日（日）ＦＦ広島発祥の地、こうぬジミーカーターシビックセンターに於いて研修・懇親会を兼ねたＦＦ広島10周年記念行事を開催しました。

午前のプログラムは弓手会長のあいさつ、自己紹介のあと森川ＦＲによる”FFのレガシーを次代につなぐ”のタイトルで記念講演をいただきＦＦ広島の生い立ち歴史等につき学びＦＦのレガシーと我々会員の使命を再認識しました。そして12時からは昼食会の後、午後は特別に招聘しました福山市立中高ＡＬＴMr. Dustin Reimerによるカナダの紹介が比較、クイズ形式で行われ、特に6月に北イリノイ渡航のオプショナルツアーでカナダを訪れる会員の方にはカナダ英語の聞き取りと合わせ大変参考になりました。そのあとは2014年に予定されている渡航、受け入れの進捗状況につき各ＥＤの方から報告があり最後に広島地区なでしこ会のメンバーの指導による歌交流があり、和やかな雰囲気のうちに会を終了しました。（猪原俊郎）

ＦＦ広島秋季研修会・懇親会開催　－福山市立大学にて－

１１月３０日（日）、福山市立大学で、岡山県・白石島から、ジャパン・タイムズコラムニストAmy Chavez さんを講師にお迎えし、研修会・懇親会を開催しました。３５名のFF広島の会員の皆様にお集まり頂き、充実した１日を過ごすことができました。

Amy Chavez さんは*「Running the Shikoku Pilgrimage　９００ Miles to Enlightenment」*と題して、四国８８か寺の巡礼の旅を歩いてではなく、走って、しかも５週間で巡礼し終えたという、驚異的な体験をお話し下さいました。８８か寺を巡礼した総距離は、***９００マイル！***巡礼者の多くは、歩いたり、バスツアーで参加したり、タクシーを使用したりする中で、あえて誰もしたことがない、過酷な手段にチャレンジし、弘法大師の教え求め、自分自身のこれから歩む道を見いだしたお話しでした。日本人以上に日本の文化の根源を求める姿勢に心を打たれました。

昼食後は、懇親会。なでしこ会の阿部さんのリードで、交換プログラムで活用できる歌を「ごんべさんの赤ちゃん」の英語版で、ジェスチャーを交えて歌いました。大きな声で、身体を動かして「You are my sunshine」を歌っていると、いつまでも若い！若い！と思わされる魔力がありました。森川宏子さん、谷口悦子さんの「小さい秋見つけた」のソプラノの後をみんなで斉唱したのも印象的でした。

懇親会後は、今までの活動報告と２０１５年度の交換予定を連絡し、閉会しました。（廣森彌生）

なでしこ会　－歌声の輪－

ＦＦクラブの歌声ということで、海外の方との交流をする時の手助けになる歌はどんなものがあるか、改めて考えてみました。みんなの良く知っている英語の歌、一緒に楽しめる手拍子や、身体表現を伴った歌、交流する国の歌、日本には四季があり季節を歌った歌は日本という国の豊かさを改めて教えてくれます。また、童謡、わらべ歌などは、簡単だけど懐かしい響きがあり、外国の人にも日本独特の節回しを味わってもらえるのに適していると思います。メンバーは歌が大好きな人から苦手な人まで多様なので、まず、歌いやすい曲から始めました。「小さな四季」という題で、春から冬までの季節の歌が、メドレーになっています。誰もが知っている曲なので、抵抗なく一緒に歌えました。少し余裕のある人に、ハーモニーに回ってもらって、二部合唱にしたりしています。月に１回の会なので楽しくお茶をいただきながらまず、連絡事項を確認した後、ひとしきりおしゃべりをし、歌声で発散しています。海外のゲストを迎えたり、こちらから海外に行ったとき定番で歌える歌があったらいいなと、思っていたので今回１１月のなでしこ会で作りました。

歓迎の歌（ごんべえさんの赤ちゃんが風邪ひいたのメロディーで歌う）
Everybody welcome to Hiroshima
We are fine thank you and how are you
Make yourself at home
And let's sing a song
グローリィ　グローリィ　ハレルヤ　グローリィ　グローリィ　ハレルヤ
グローリィ　グローリィ　ハレルヤ　And let's sing a song

続きは、またみなさんと、お会いする会で紹介します。お楽しみに。（阿部真由美）

英会話サロン　- English is Fun! -

"The FF Hiroshima Club English Salon has been a highlight of my teaching experience in Japan. In our classes we discuss current events, tell stories, and exchange ideas in English. It's both an honor and a pleasure to be able to help with English in this relaxed setting with students who want to share and learn together. I do not speak Japanese so it has been a wonderful opportunity for me to learn about Japan and Japanese culture in English. I think the Salon represents an ideal way to practice or study English that is informative and fun at the same time." (Jon Prevatt)

昨年１月から英会話サロンがスタートしました。講師のJon先生の柔らかくて温かいご指導の下で、初めは人前でのスピーチに戸惑いながらも回を重ねていくたびに緊張もとけて、１年が経過した今では和やかな雰囲気の中でのレッスンとなっています。

旅行、料理、健康、趣味のことなど毎回違った話題に興味をそそられています。理解できない場合には上級者の方々が簡単な言い方で説明して下さったり、よいコミニケーションの場となっています。英語を通して異文化にふれたり、その違いに感動しながら話が途切れることはありません。

会員の多くが参加することとなっている来年3月、オーストラリアのアデレードへの渡航の際には、ステイ先で、空港で、観光地で日頃の成果が発揮できることを夢見ての日々です。（久田悦子）

私は英語が全く話せませんが、英会話サロンへ参加していると、最近では皆さんが話していることがなんとなく伝わってくるようになりました。英会話を習うということだけでなく、参加されている皆さんそれぞれの生活環境の中でのユニークな話題や、感動的な話、時には特技を見せていただくこともあり、とても話題が豊富で毎回参加するのが楽しみです。間のコーヒーブレイクも楽しみの１つです。人間は一緒にお茶を飲んだり食事をしたりすることでとても親近感がわいてくるものです。サロンは回を重ねるごとに温度が上昇しているように感じます。毎回楽しく参加させていただくことができるのも、会場を提供してくださっている弓手さんご夫妻、ジョン先生、心温かい皆さんのおかげです。ありがとうございます。（金森のり子）

新入会員紹介

三島 美知子さん Ms. Michiko Mishima（福山）

いろいろな国の文化を知り、たくさんの友達をつくって、お互いを理解し合う、このFFに入会し、ワクワクしています。戦争のない地球にしたいですね。

吉岡 晴美さん Ms. Harumi Yoshioka（福山）

薔薇の香水の製造販売とアロマテラピー教室の運営をしています。娘が高校生の時、オーストラリアからの留学生を受け入れた経験や海外旅行などで、異文化に触れる楽しさを知りました。英会話サロンで英語力を身に付け国際交流に役立てればと思っています。よろしくお願いいたします。

井上 太三郎さん Mr. Tasaburo Inoue（福山）

廿日市市出身、尾道市に在住、広島県警の警察官として４１年勤務、渡航の経験としては警察庁から中南米８カ国３ヶ月間派遣され、また、プライベートでは北欧などの旅行体験があります。

小林 知恵さん Ms. Chie Kobayashi（広島）

３０代の頃から、アメリカに憧れを抱くようになり、数年前、友人を訪ねる機会があってアメリカに行きました。が、そこで感じた事は自分は日本の文化が大好きだと外国に行ってみて気がつきました。日本文化等を海外の方に紹介したり国際交流したいと思います。まだ、全然英会話が出来ませんが、どうかよろしくお願いいたします。

李 月娥さん Ms. Yuee Li（広島）

私は、李 月娥（Li Yuee）と申します。
中国人と日本人のハーフですが、国籍は関係なく、地球人の一員として皆様と仲良く楽しくなれることを楽しみにしております。
日本語と中国語は堪能ですが、英語は今から頑張ります。よろしくお願いたいします。

竹迫 桂子さん Ms. Keiko Takesako（広島）

ＦＦの活動を通して　各国の文化をより知り、触れ合いを体感できることは、これからの人生を豊かにしてくれるものと信じています。宜しくお願いします。

2014年のあゆみ

1）ＦＦ広島総会（1月26日）@ひろしま国際センター
2）ＦＦ広島10周年記念行事を兼ねたＦＦ広島春季研修会・懇親会（5月18日）@三次市カーターセンター
3）西日本ブロック会議（5月23日）@長崎　出席者：森川ＦＲ、弓手会長、竹内理事、神森理事、谷口さん
4）北イリノイ渡航（6月1日～11日）12名参加　ＥＤ：猪原さん
5）トルコ・イズミール　ＨＳＳ（6月2日～4日）ＥＤ：山本鈴子さん
6）ＦＦ日本大会（6月29日～30日）@札幌　出席者：森川ＦＲ、弓手会長、田村副会長
7）第３７回NZ・オークランド世界大会（10月14日～16日）出席者：森川ＦＲ、東道淳子さん・幸弘さん
8）ベルギー・ルーバンＳＯＨ（11月24日～26日）ＥＤ：竹内佳代子さん
9）ＦＦ広島秋季研修会・懇親会（11月30日）@福山市立大学　出席者：35名

2015年の予定

1）ＦＦ広島総会・Newsletter第5号発行（1月24日）@ひろしま国際センター
2）アデレード渡航（3月8日～17日）参加者：20名　ＥＤ：猪原さん
3）ＦＦ広島春季研修・親睦会（5月３１日）@三次市カーターセンター
4）第38回カナダ・バンクーバー世界大会（８月２８日～３１日）
5）FF日本大会（９月２７日～２８日）@岐阜市
6）バーミンガム、ラスベガス受け入れ（10月7日～14日）ＥＤ：廣森理事、ＣＯ－ＥＤ：松本浩子さん
7）FF西日本ブロック会議（11月6日）@大分県竹田市
8）ＦＦ広島秋季研修・親睦会（11月）

編集後記

Newsletter第５号を皆様にお届けします。FF広島の活動が、渡航、受け入れだけに留まらず、地域活動、Next Generationへの働きかけなど、活動の輪が広がって来ています。これからも皆様の積極的な活動を情報発信していきます。（編集委員　中垣健一・松本浩子・廣森彌生）